

前期基本計画 平成30年度 施策方針書

政 策 : 02 健やかで笑顔にあふれ、互いに支えあうまちを目指します

基本施策 : 07 安心できる暮らしの実現

施 策 : 02 安心して医療を受けるための助成

施策担当職・氏名	保険年金課長 田沼 政司
-----------------	--------------

1. 施策の実現状況を明らかにする

(1) 施策の内容

	<p>病気やけがで治療が必要となったときに、安心して医療を受けることができる制度があることは、滝沢市民が幸福を実感するための重要な要素である「健康」や「所得・収入」につながると考えています。この施策では、医療を受ける機会の多い各種医療費助成の対象者に医療費を助成することで、経済的負担を軽減し、心身ともに健やかに暮らせる状態とすることを目指しています。</p>
--	--

(2) 施策目標値の達成状況

No	この施策に関わる施策目標指標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値				目標値	進捗状況
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	進捗率(%)
1	暮らし 自分が心身ともに元気と感じる人の割合 単位 %	57.1	58	58.6	59.4	60	60.5	-
			57	58.4	0	-	-	0.0
2	幸福 滝沢市で幸せに暮らしている人の割合 単位 %	61	62	64	66	68	70	-
			57.6	64.5	0	-	-	0.0
	単位							

(3) 施策を構成する事務事業及び目標値の達成状況

No	事務事業名 事務事業目標指標	推移	平成28年度	平成29年度 (見込)	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	4年後
1	235 重度心身障害者医療費給付事業 対象者数 単位 人	目標値	1,018	1,023	1,014	1,014	1,015	1,015	0
		実績	1,009	0	-	-	-	-	-
2	290 妊産婦医療費給付事業 対象者数 単位 人	目標値	249	240	210	210	210	210	0
		実績	200	0	-	-	-	-	-
3	418 子ども医療費給付事業 対象者数 単位 人	目標値	3,308	5,300	4,500	4,500	4,500	4,500	0
		実績	3,155	0	-	-	-	-	-
4	8959 ひとり親家庭医療費給付事業 対象者数 単位 人	目標値	1,413	1,300	1,270	1,270	1,270	1,270	0
		実績	1,274	0	-	-	-	-	-
5	11017 養育医療費給付事業 対象延件数 単位 件	目標値	46	30	30	30	30	30	0
		実績	22	0	-	-	-	-	-

前期基本計画 平成30年度 施策方針書

政 策 : 02 健やかで笑顔にあふれ、互いに支えあうまちを目指します

基本施策 : 07 安心できる暮らしの実現

施 策 : 02 安心して医療を受けるための助成

施策担当職・氏名 保険年金課長 田沼 政司

2. 施策の実現に向けての現状を認識する

(1) 施策目標の進捗状況分析

- ・子育てを支援するために、平成28年8月より妊産婦医療費給付事業及び子ども医療費給付事業の現物支給を開始し、受給者の経済的負担の軽減を図っています。
- ・子ども医療費給付事業は、平成29年8月診療分から小学生の入院外に対する医療費の助成を開始し、対象者の拡大を図りましたが、今後も対象者の見直しなど県や他市町村の動向を注視し、財政状況を踏まえて検討していく必要があります。

(2) 施策の実現に影響する社会環境変化

- ・各種医療費給付事業は、医療を受ける機会が多い方が対象であり、また低所得世帯が大半であることから、福祉の充実の観点に鑑み、当該家庭の経済的負担のさらなる軽減が求められています。

(3) 基本施策との関連性

- ・基本施策の「安心できる暮らしの実現」には、病気やけがで治療が必要になったときに、安心して医療が受けられる制度があることが必要です。

3. 施策の実現に向けての取り組みを決定する

(1) 施策の達成（実現）に向けた基本計画内の取り組みと方針

- ・子ども・ひとり親家庭・妊産婦・重度心身障害者・養育医療費給付事業は、適正かつ確かな事務により、当該家庭の経済的負担を軽減し、必要な医療が受けられる環境を整えます。

(2) 基本計画内の取り組みと方針のうち、平成30年度の重点課題

- ・子ども医療費給付事業は、平成29年8月診療分より入院外の給付を小学校6年生まで拡大しておりますが、所得制限の見直しなど、他市町村の状況を勘案しながら事業を実施する必要があります。

(3) 基本計画内方針及び平成30年度重点課題に基づく優先順位の考え方

- ①各種医療費給付事業は、当該家庭の経済的な負担を軽減し、必要な医療が受けられる環境を整える制度ですので、適正かつ適切な事務に努めます。

